

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 カーボン・パウダー (Carbon Powder)
 (製造及び供給者)
 株式会社カーボントレード (Carbon Trade Inc.)
 東京都港区赤坂 3-21-20 4F
 電話 03-5797-7768 FAX 03-5797-7769

2. 危険有害性の要約

政府向け GHS 分類が *イダ* ス (H25 年度改訂版 Ver.1.1) 使用
<http://www.safe.nite.go.jp/ghs/15-mhlw-0115.html>

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
健康に対する有害性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (呼吸器)

環境に対する有害性

上記で記載がない危険有害性項目は GHG 分類で「分類対象外」
 または「分類できない」に該当する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	無機系混合物
化学名又は一般名	植物性シリカ
別名	シリカ、二酸化ケイ素
濃度又は濃度範囲	植物性シリカ：60%–96%、その他：4%–40%
分子式	植物性シリカ：SiO ₂ 、 その他：不明
化学特性 (構造式)	植物性シリカ：O=Si=O、 その他：不明
官報公示整理番号	植物性シリカ：データなし、 その他：-

4. 応急処置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で 15~20 分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを 着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続 けること。症状が続く場合には医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
急性症状及び遅発性症状 の最も重要な徴候症状	データなし

応急措置をする者の保護 救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。
 医師に対する特別な注意 データなし
 事項

5. 火災時の処置

消火剤 周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

特有の危険有害性 この製品自体は燃焼しない。
 消火を行う者の保護 消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 関係者以外の立ち入りを禁止する。
 保護具及び緊急措置 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項 周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法 飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散しないようにして、空容器等に回収する。
 及び機材 取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い 容器を密閉しておくこと。
 注意事項 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
 粉じんを発生させないようにする。

接触回避 データなし
 衛生対策 できるだけ屋外又は換気の良い場所で使用すること。

保管 安全な保管条件 施錠して保管すること
 容器を密閉しておくこと。
 保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。直射日光を避け、冷暗所に保管する。

安全な容器包装 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。
 材料

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。換気のよい作業場所を使用する。

保護具	呼吸用保護具	防塵マスク、保護マスクを着用する。
	手の保護具	防護手袋を着用する。
	眼の保護具	防護眼鏡、ゴーグルを着用する。
	皮膚及び身体の保護具	保護服、保護エプロン、保護長靴等を着用する。

9. 物理的及び化学的特性

物理的状态	固体
形状	固体（粉末）
色	黒、灰色、桃色、白
臭い	無臭
融点・凝固点	データなし
沸点初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	不燃性
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲	不燃性
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	データなし
溶解度	純水：0.135mg/L
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	不燃性
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	データなし
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 環境影響情報

データなし

12. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。</p>
汚染容器および包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自

治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1.3. 輸送上の注意

国際規則	国連番号	—
	国連品名	—
	国連危険有害性クラス	—
	副次危険	—
	容器等級	—
	海洋汚染物質	該当しない
	MARPOL73/78	該当しない
	附属書II及びIBCコードによるばら積み	
	輸送される液体物質	
国内規則	海上規制情報	船舶安全法に従う。
	航空規制情報	航空法に従う。
	陸上規制情報	消防法、道路法に従う。
特別安全対策		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。

1.4. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

1.5. その他情報

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しています。記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。